

「ENCO+BINI+Cmab」について

この治療法は、BRAF 遺伝子変異を有する大腸癌の治療法です。ENCO(エンコラフェニブ)、BINI(ビニメチニブ)、Cmab(セツキシマブ)の3種類の抗がん剤を使用します。

1. 投与方法

1) 注射薬

薬剤	効能または使用目的	投与時間
デキサメタゾン＋ ファモチジン＋ クロルフェニラミン	インフュージョン・リアクション予防	30分
セツキシマブ	抗がん剤	120分
生理食塩液	点滴ルートでの洗浄	30分

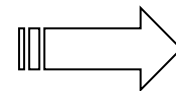
2) 内服薬

薬剤	効能または使用目的	用法
エンコラフェニブ、ビニメチニブ	抗がん剤	連日内服

2. スケジュール

ENCO+BINI+Cmabは14日サイクルで抗がん剤を投与していきます。セツキシマブ注は1日目に投与すると残りの期間は「休薬期間」といい、体調の回復を待ちます。その後同様にして治療が進みます。**内服薬のエンコラフェニブ、ビニメチニブは連日内服します。**

	1サイクル	
	1日目	2日目～14日目
セツキシマブ	○	
休薬日		○

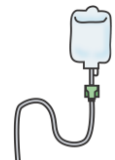


3. 特徴

●セツキシマブ

作用: がん細胞表面の EGFR(上皮細胞増殖因子受容体)へ結合し、EGF(上皮細胞増殖因子)の働き(細胞増殖)が抑制されます。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感を感じたらお知らせください。



●エンコラフェニブ

作用: 「BRAF 遺伝子」は細胞の増殖にかかわる遺伝子で、この遺伝子に変異が起こると、細胞を増殖させる命令ばかりを伝えてしまいます。エンコラフェニブは変異を起こした BRAF に作用して、がん細胞の増殖を抑える働きがあります。

注意事項: 飲み合わせに注意が必要なお薬があります。服用されているお薬がある場合、医師・薬剤師にお伝えください。

●ビニメチニブ

作用:細胞増殖させる命令はいくつかの物質がバケツリレーのように伝えていきます。BRAF が、次に命令を伝えるのが MEK というたんぱく質です。ビニメチニブは MEK に作用して、がん細胞を増殖させる命令を止めたり、お薬の効果を長持ちさせたりするお薬です。

注意事項:飲み合わせに注意が必要なお薬があります。服用されているお薬がある場合、医師・薬剤師にお伝えください。

4. 副作用

抗がん剤治療によって起こりうる主な副作用の種類、予防法、そしてそれが出現したときのひとまずの対応方法を知ることが副作用対策の第一歩です。ここでは比較的高頻度に出現する副作用と頻度は少なくとも注意が必要な副作用(有害作用)について掲載しました。

(ただし、頻度や強さには個人差があることをご理解の上で、参考にしていただきたいと思います。)

※エンコラフェニブ、ビニメチニブによる副作用は別紙をご参照ください。

皮膚障害

セツキシマブの投与により、以下のような皮膚に対する副作用が現れてきます。

- ・ニキビのような発疹や吹き出もの(好発時期:1~4週)
- ・皮膚の乾燥やひび割れ(好発時期:3~5週以降)
- ・かゆみ
- ・爪周囲の炎症(好発時期:4~8週以降) など

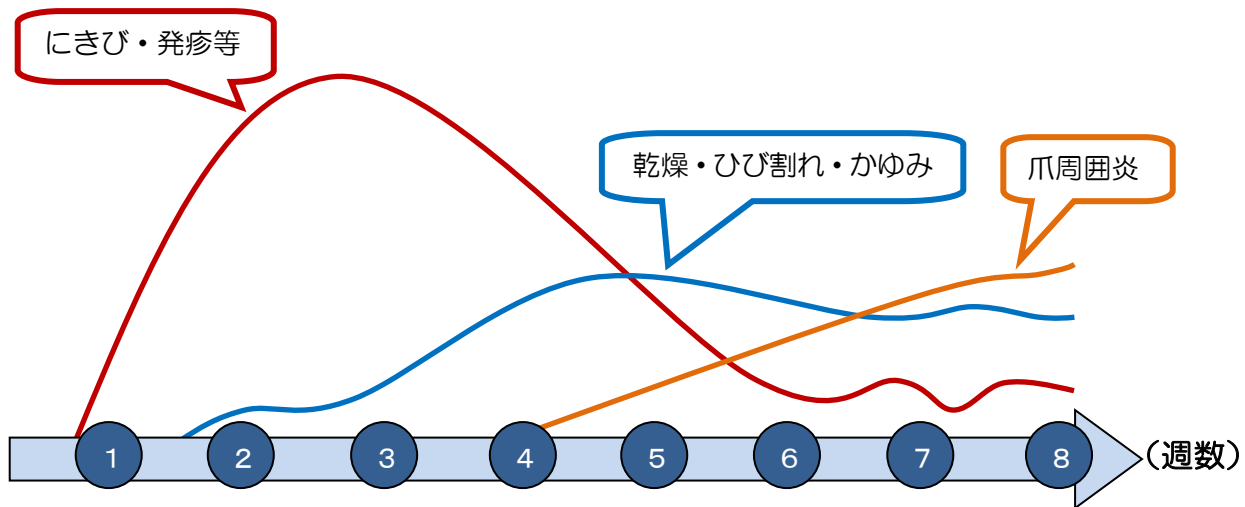
対策: 予防的なスキンケアが皮膚障害の発現を少なくすることが分かっています。日常生活で以下のような対策を取っていただくことをお勧めします。

- 入浴やシャワーで清潔を保持し、入浴後は乾燥を防ぐことを心がける
 - ・刺激の少ない石鹸等を使用する
 - ・熱いお湯やシャワーは避ける
 - ・入浴後は保湿剤を塗布して乾燥を防ぐ
- 外出時は直射日光を避ける(紫外線対策)
 - ・SPF(30)、PA(++)などの日焼け止めを使用する(汗をかいたときは塗りなおしてください)
 - ・帽子や長袖などで直射日光を防ぐ

日常生活以外では、薬剤を使用することで予防や治療を行うことがあります。

- ・抗生剤の予防的内服:ミノサイクリン
- ・保湿剤:ヘパリン類似物質油性クリーム・液など
- ・ステロイド:ヒドロコルチゾン酪酸エステル軟膏、ベタメタゾン軟膏、ジフルプレドナート軟膏 など

皮膚障害発現時期（イメージ）



下痢

好発時期: 当日～数週間の間にご起こることがあります。

対策: 水分を多めに取って脱水が起きないように心がけてください。
頻回の水様便や発熱を伴う場合はご相談ください。



注射時反応(Infusion reaction)

好発時期: セツキシマブの注射によって起こる可能性のある症状です。

主な症状は発熱、悪寒(さむけ)などです。まれに頭痛や倦怠感などが起こることがあります。

予防としてセツキシマブの投与前に抗ヒスタミン剤とステロイドを投与します。

セツキシマブの投与終了後、症状が出ないか観察時間をとらせていただきます。

異常を感じたらスタッフにお知らせください。

2回目以降は起こりにくくなるのが特徴です。

間質性肺炎

間質性肺炎は、肺が炎症を起こし機能が低下する病気です。発症率はまれですが、放置すると重篤化する危険性があります。症状としては**息切れ**、**呼吸困難**、**空咳**、**発熱**などが起こります。また、この症状は肺に病気を持っている患者さんほど起きやすいことが分かっています。上記の症状が出た場合は自己判断せずに早めにご相談ください。

対策: 初期症状は風邪によく似ているため自己判断せずに早めにご相談ください。



血管外漏出

抗がん剤を点滴しているときに血管の外に薬が漏れてしまう(漏出)ことがまれにあります。症状としては点滴部位の違和感、痛み、腫れなどで、場合によっては血管に沿って症状が出てくるともあります。

好発時期: 点滴している間がほとんどですが、帰宅後にもし異常を感じたら早めにご連絡ください。

対策: 抗がん剤の種類によって対策が異なります。もし、症状にお気づきになった場合は早めにスタッフにお声掛けください。

※この他にも日常と違った症状がでた場合は病院までご連絡ください。

済生会宇都宮病院

代表: TEL 028-626-5500